

事業シート(令和2年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・病院や買い物に気軽に出かけられるような公共交通網の充実をめめます。また、バス停などにおいては雨風・降雪などが防げる工夫を路線バス会社・道路管理者、バス停周辺住民などと連携しながら検討します
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	総務管理費		根拠計画		都市基本計画、地域公共交通網形成計画		
			目	17	総合交通対策費						
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2339								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通を確保する。 将来に渡って、持続可能な公共交通サービスを提供する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)、観光特化型バス(匠バス)の運行 事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
市民1人当たりの地域公共交通(まちなみバス、のらマイカー、たかね号)年間利用回数	1.75回	1.51回	2.50回
「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	32.9%	47.0%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		407,394	384,270	274,854	350,854	297,157	△ 87,113
特定財源	国費()						
	県費(自主運行バス運行費 1/4.1/3)	25,000	33,539	21,000	21,000	26,585	△ 6,954
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	179,000	156,765	11,000	11,000	11,000	△ 145,765
一般財源		203,394	193,966	242,854	318,854	259,572	65,606
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	バス運行事業	210,500	202,059	240,000	251,000	248,377	46,318
	公共交通空白地有償運送に対する助成	12,000	11,070	12,000	12,000	11,010	△ 60
	運転免許自主返納者に対する公共交通利用助成	400	185	200	200	81	△ 104
	観光特化型バスの購入、車体の改装、待合所の整備	179,000	166,919				△ 166,919
◎ 2	公共交通利用促進のための助成			19,600	19,600	2,662	2,662
	プレミアム付き公共交通利用券事業に対する助成				40,000	13,440	13,440
	新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業に対する助成				25,000	19,529	19,529

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算	実施計画額	274,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
304,137	284,724	284,724	9,870	
25,000	25,000	25,000	4,000	
279,137	171,724	171,724	△ 71,130	
査定額	説明			
252,200				
12,000				
100				
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 114,260人、まちなみバス 35,705人、たかね号 2,439人 高山市公共交通活性化協議会の開催 5回 利用促進策の実施(のりものフェスタの開催、ガイド付きバスの運行、時刻表・企画切符作成ほか) 公共交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 運転免許自主返納者に対して公共交通利用回数券を交付 257人 観光特化型バスの購入及び改装3台、待合所の整備2か所 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> R2年度運行開始の観光特化型バスの運行準備や、まちなみバスの見直しなど、市街地内の公共交通の利便性向上のための取り組みを行うことができた。 引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の適正化に向けた見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図る必要がある。 免許自主返納者に対して公共交通利用回数券を交付し、自主返納の促進に寄与することができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 観光特化型バスの運行やまちなみバスの見直し、高齢者や若年者の公共交通の利用促進のための取り組みなどにより、公共交通の利便性を向上させ利用の促進を図る。 のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う。 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 85,994人、まちなみバス 23,151人、たかね号 2,418人 匠バス(観光特化型バス)の運行開始 延べ利用者数 18,275人 高山市公共交通活性化協議会の開催 6回(うち書面協議4回) 利用促進策の実施(のりものフェスタの開催、ガイド付きバスの運行、時刻表・企画切符作成ほか) 公共交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 公共交通利用促進のための助成(高齢者、若年者等に対するバスポート発行、匠バス(観光特化型バス)利用者の駐車場利用割引など) プレミアム付き公共交通利用券事業(1,000円で1,500円分のチケットを販売)に対する助成 販売数: 441,180枚(販売率44.1%)、使用数:322,585枚(利用率73.1%) 新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業に対する助成 利用件数 貸切バス利用支援:255件、旅行企画路線バス支援:1,009件、旅行企画貸切バス支援:57件 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 匠バス(観光特化型バス)の運行開始や、のらマイカーの運行見直し、高齢者・若年者等の公共交通の利用促進のための制度創設など、市民や観光客の利便性向上に繋がる取組みを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度より利用者が減少した。 緊急経済対策として実施したプレミアム付き公共交通利用券事業や新型コロナウイルス対策公共交通利用促進事業により、バスやタクシーの利用促進が図られた。 引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図るとともに、利用促進を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、公共交通の利用促進につながる取組みを実施する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス事業の実施に必要な経費を計上 公共交通の利用促進を図るために必要な経費を計上 自主運行バスにおける新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を計上 のらマイカー等のキャッシュレス化に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課	
枝番・内容	1 バス等運行事業		<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	2	総務費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線			2363
		<input type="checkbox"/>		目		17	総合交通対策費	作成年月			R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・将来にわたって、持続可能な公共交通サービスを提供する。 ・市街地における交通混雑解消のため、公共交通の充実を図る。	概要	・地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)、観光特化型バス(匠バス)の運行
----	---	----	---

[参考] H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	210,500
	繰越	
	補正等	
	最終	210,500
決算額		202,059
対前年度増減額(決算)		2,114

[参考] R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	240,000
主な経費	・バス等運行委託料	
対前年度増減額(当初予算)		29,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	240,000
	繰越	
	補正等	11,000
	最終	251,000
決算額		248,377
対前年度増減額(決算)		46,318

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	252,200
主な経費	・バス等運行委託料	
対前年度増減額(当初予算)		12,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・まちなみバス、のらマイカー 24路線の運行 利用者数 149,965人	
[評価等]	
・市全域において、継続的に市民の移動手段を確保することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・観光特化型バスの運行により、観光客等の公共交通の利便性向上に取り組む。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・まちなみバス、のらマイカー 24路線の運行 ・匠バス(観光特化型バス)の運行開始	
[スケジュール]	
・4月～3月 バス等の運行 ・4月～ 観光特化型バスの運行	
次年度以降の考え方(担当課)	・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、効果的なPRにより利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・まちなみバス、のらマイカーの運行 24路線 利用者数 109,145人 ・匠バスの運行開始(R2.4.1～) 3路線 利用者数 18,275人 ※新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言などを踏まえ、4/16～6/16の期間について、匠バスを運行休止とした	
[評価等]	
・匠バスについては、観光特化型バスとして4月より運行を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月の利用者数に大きな変動が生じた。 ・10月、11月については、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、GoToトラベル事業の好影響などもあり、観光客の利用やイベント(10/25開催のりものフェスタ)での利用が多く見られた。	
<匠バスの利用者数> 利用者数上位月 10月 4,003人 11月 3,465人 12月 2,033人 利用者数下位月 5月 0人 4月 494人 6月 574人	
次年度以降の考え方(担当課)	・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、効果的なPRにより利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・まちなみバス、のらマイカー 24路線の運行 ・匠バスの運行 3路線	
[スケジュール]	
・4月～3月 バス等の運行	
次年度以降の考え方(担当課)	・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、効果的なPRにより利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課	
枝番・内容	2 公共交通利用促進のための助成		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	2	総務費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線			2363
		<input type="checkbox"/>		目		17	総合交通対策費	作成年月			R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共交通が定期的に利用できる利便性の高い環境を整える必要があることから、公共交通利用者に対して新たな支援を行う。	概要	・高齢者、若年者等を対象とした年間パスポート等の創設や観光特化型バスの利用促進のための助成
----	---	----	---

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	19,600
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		19,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	19,600
	繰越	
	補正等	
	最終	19,600
決算額		2,662
対前年度増減額(決算)		2,662

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	16,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、若年者等に対する公共交通利用促進 ・観光特化型バスの利用促進
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～ パスポートの販売等及び運営

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけバスポート」の発行 制度概要 65歳以上の方や障がい者、難病療養者が使用できるバスポート。対象バスが1年間乗り放題となるほか、タクシーの場合は一乗車100円引きとなる 購入料金 6,000円(運転免許自主返納者については、1回に限り無料で発行) 対象バス のらマイカー(デマンドタクシー含む)、まちなみバス、たかね号、匠バス(さるぼぼバス含む) 発行枚数 180枚(有料83枚、無料97枚) 利用実績 16,984回(1人あたり94回利用) ・「ヤングバスポート」の発行 制度概要 小学生、中学生、高校生(18歳到達後最初の3月31日までに該当)が使用できる利用券。対象バス(おでかけバスポートと同様)が無料で利用できる 利用実績 8,631回 ・匠バスの利用促進 制度概要 共同運行するさるぼぼバスの運賃(210円)をのらマイカー等と同額とするための差額の運賃補てん 利用実績 13,050回
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響などにより、「おでかけバスポート」の発行は少ない結果となった。 ・「ヤングバスポート」については、市内の小中高校生全てに配布するなど周知したが、多くの利用には至らなかったため、今後も利用につながるようさらなる周知等に努める必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により観光客入込数が減少したため、匠バス(さるぼぼバス)の多くの利用には至らなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・制度周知に努め、さらなる利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、若年者等に対する公共交通利用促進 ・観光特化型バスの利用促進
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～ パスポートの販売等及び運営

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74500 緑地保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		緑の基本計画			
			目	4	景観保全総務費		根拠計画			
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けることができる環境を整備する。 緑化意識の高揚を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設緑化用苗木の配布、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 市街地周辺の里山の取得 間伐等による適正管理 里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 市指定保存樹等の管理に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	587人	342人	—

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,550	5,158	6,580	6,580	4,714	△ 444
特定財源	国費()						
	県費(里山整備事業費 10/10)		294				△ 294
	その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	3,055	2,684	2,637	2,637	2,237	△ 447
一般財源		7,495	2,180	3,943	3,943	2,477	297
個票枝番	主な事業内容						
	里山の購入	5,000	0	1,000	1,000	0	
	緑地保全に対する助成	2,300	2,330	2,300	2,300	2,330	0
	指定保存樹等管理に対する助成	1,000	883	1,000	1,000	910	27
	市民ハイキング	330	320	330	220	106	△ 214
	樹木の管理	500	388	500	500	84	△ 304
	里山林の整備	500	323	500	500	476	153

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,196	5,880	5,880	△ 700
1,581	2,725	2,725	88
4,615	3,155	3,155	△ 788
査定額	説明		
600			
2,300			
1,000			
150			
500			
500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 松倉山市民ハイキングの実施 6月2日 587人 里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 74件 市指定保存樹等の管理に対する助成 16件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントについては、緑化に対する意識を新しい世代に引き継ぐため、より多くの市民が参加しやすい方法で実施する必要がある。 里山の適切な保全のため所有者への奨励金交付を継続する必要がある。 里山の取得については、対象となる山林所有者に取得に対する理解をしてもらう必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日に実施するイベントについて、実施方法を見直す。 里山取得は適正な価格に基づいた地権者との交渉を進める。 里山保全のため、引き続き協力する所有者に対して助成を行う。 保存樹等の管理のため、引き続き助成を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 松倉山市民ハイキングの実施 10月3日～18日 342人 里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 72件 市指定保存樹等の管理に対する助成 16件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日等に実施するイベントについては、これまでの1日開催を期間開催とし、より多くの市民が参加しやすい環境を整えた。 里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果を検証する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日に実施するイベントについて、期間を設けての実施方法を継続する。 緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討する。 保存樹等の管理のため、引き続き助成を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 緑と親しむ日に開催するイベントの実施に必要な経費を計上 里山の景観を保全するための整備に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74510 景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		根拠計画		景観計画、歴史的風致維持向上計画	
			目	4	景観保全総務費					
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・市街地景観保存区域における保存活動への支援や景観形成に資する事業への助成などにより、美しい景観の保全・創出を図る。</p>	概要	<p>・景観保存活動や美しい景観形成に資する修理・修景に対する助成の実施 市街地景観保存会補助金、市街地景観保存区域建造物補助金、景観重要建造物補助金、景観形成事業(塀等設置)補助金、高山の景観にふさわしい看板補助金、生け垣等設置補助金、一般開放型便所改修補助金</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	79.1%	81.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	339,341	250,303	32,581	32,581	28,616	△ 221,687
特定財源						
国費(景観形成促進事業費1/2、1/3等)		5,823	9,990	9,990	6,236	413
県費(県移譲事務交付金)	30	30	30	30	80	50
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	182,009	95,927	500	500	500	△ 95,427
一般財源	157,302	148,523	22,061	22,061	21,800	△ 126,723
個票枝番	主な事業内容					
	市街地景観保存会に対する助成	1,658	1,548	1,658	1,544	△ 4
	景観形成、生けがき等設置に対する助成	19,500	6,314	7,370	8,912	2,598
	高山の景観にふさわしい看板の設置等に対する助成	34,000	23,070	3,600	2,529	△ 20,541
	景観重要建造物の修景等に対する助成	5,000	1,658	3,000	5,000	3,342
	市街地景観保存区域建造物の修景等に対する助成	15,000	12,536	15,000	10,074	△ 2,462
	景観まちづくり刷新事業の推進	257,000	199,259			△ 199,259
	無電柱化整備計画の策定	5,000	4,950			△ 4,950

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
39,324	35,471	35,471	2,890
9,391	8,240	8,240	△ 1,750
30	80	80	50
			△ 500
29,903	27,151	27,151	5,090
査定額	説明		
1,658			
9,870			
2,400			
5,700			
15,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存会補助金 13件 景観重要建造物補助金 3件 市街地景観保存区域建造物補助金 8件 高山の景観にふさわしい看板補助金 27件 景観形成事業(塀等設置)補助金 17件 生け垣等設置補助金 5件 景観まちづくり刷新事業の推進 上一之町花里線電線共同溝設計(共同研究) 宮川朝市通り修景整備、駅前中央通り修景整備 高山駅前の民間建物の景観修景、宮川沿いの民間建物の景観修景 駐車場の目隠し整備
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域建造物の修景工事に係る意向調査を行い、効率的な補助金の活用を進めた。 塀や生け垣等設置補助金について、対象範囲の拡大やブロック塀撤去後の板塀等の設置に関する補助金の拡大について、市民への周知を行った。 景観計画見直し(H29.4)に伴う不適格となった屋外広告物の撤去及び新設に対する助成を行った。(特例措置制度) 景観まちづくり刷新事業での道路修景、民間建物の景観修景により、一体的な景観向上を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 各種補助制度について対象範囲拡大を含む制度の周知、活用の促進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存会補助金 13件(うちコロナ対策拡充後3件) 景観重要建造物補助金 1件 市街地景観保存区域建造物補助金 6件 高山の景観にふさわしい看板補助金 13件 景観形成事業(塀等設置)補助金 20件(うちコロナ対策拡充後10件) 生け垣等設置補助金 8件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 市街地景観保存区域建造物の修景工事に係る意向調査を行い、計画的な補助金の活用を進めた。 ブロック塀撤去後の塀や生け垣等設置に対する助成について、助成の拡大を行っていることを市民に周知し、利用促進を図ることができた。(前年度より件数が増加)
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 各種補助制度について、交付条件や対象範囲の見直しについて検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 景観保全事業に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり
--------------	---

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74520 無電柱化整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出		
			項	4	都市計画費		根拠計画				景観計画、歴史的風致維持向上計画
			目	4	景観保全総務費						
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・無電柱化の推進により、防災性の向上、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の創出を図る。	概要	・無電柱化整備の実施
----	---	----	------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれていると感じる市民の割合	79.1%	81.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
			250,000	250,000	86,200	86,200
特定財源						
国費 (街なみ環境整備事業 1/2)			104,250	104,250	0	
県費 (
その他(無電柱化工事建設負担金、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)			70,558	70,558	80,058	80,058
一般財源			75,192	75,192	6,142	6,142
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	無電柱化の推進					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		144,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
144,000	144,000	144,000	△ 106,000	
19,500	19,500	19,500	△ 84,750	
	100,000	100,000	29,442	
124,500	24,500	24,500	△ 50,692	
査定額	説明			
144,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 上之町花里線 1工区共同溝本体・引込管工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 上之町花里線1工区の共同溝本体・引込管工事について、地元・電線管理者と調整し、事業を推進した。 上之町花里線2工区の整備に向けた電線管理者との下協議を進め、事業推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・無電柱化整備に必要な経費を計上
---------------------	------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	74520 無電柱化整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課
枝番・内容	1 無電柱化の推進		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	7	土木費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	都市計画費	内線	2313	
		<input type="checkbox"/>		目		4	景観保全総務費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・無電柱化により、良好な景観と安全な歩行空間を創出する。	概要	・高山駅から上一之町までの無電柱化及び道路修景整備
----	------------------------------	----	---------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	250,000
主な経費	1工区電線共同溝工事	
	2工区詳細設計	
対前年度増減額(当初予算)		250,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	250,000
	繰越	
	補正等	
	最終	250,000
決算額		86,200
対前年度増減額(決算)		86,200

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	144,000
主な経費	1工区電線共同溝工事	
	1工区道路修景工事	
	2工区詳細設計	
対前年度増減額(当初予算)		△ 106,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	上一之町花里線 ・1工区共同溝本体・引込管工事 ・2工区詳細設計
[スケジュール]	9月～ 1工区工事 5月～ 2工区設計

事業実績、評価等	
[事業実績]	上一之町花里線 ・1工区電線共同溝本体・引込管工事を実施(繰越)
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	上一之町花里線 ・1工区共同溝工事(入線・抜柱) ・1工区道路修景工事 ・2工区詳細設計
[スケジュール]	10月～ 1工区入線抜柱工事 1工区道路修景工事 7月～ 2工区設計

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74600 公園管理事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3 人と人がつながり、安全で美しさと利便性が共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7 土木費		まちづくり戦略	(2) 利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
			項	4 都市計画費		緑の基本計画		
			目	5 公園管理費		根拠計画		
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が公園やまちかどスポットなどを安全・安心・快適に利用できるよう管理し、潤いとやすらぎを感じることができるまちづくりを推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園及び地区公園の改修と維持管理 まちかどスポットの維持管理 市道の街路樹の維持管理 駅前広場等の維持管理
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
住民一人当たりの都市公園面積	9.2㎡	9.4㎡	10㎡
身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じている市民の割合	26.9%	33.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	143,958	140,615	135,663	135,663	132,380	△ 8,235	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(公園使用料等)	1,600	3,979	1,900	1,900	3,166	△ 813	
一般財源	142,358	136,636	133,763	133,763	129,214	△ 7,422	
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理施設の管理運営	27,230	26,798	27,750	27,750	27,572	774
	直営管理施設の管理運営	94,128	91,351	87,913	87,913	84,885	△ 6,466
	施設整備	22,600	22,466	20,000	20,000	19,923	△ 2,543
	公園用地購入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		136,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
223,693	179,862	179,862	44,199	
2,173	1,900	1,900	0	
221,520	177,962	177,962	44,199	
査定額	説明			
27,870				
90,392				
7,400				
54,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 まちかどスポット107箇所の維持管理 市道(49路線)の街路樹の維持管理 公園、スポットの改修整備「みはらし広場浄化槽改修工事ほか」
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、地区公園について、計画的な改修が図られるよう、老朽化等による修繕、改修が必要な箇所の調査を随時実施する。 公共施設等総合管理計画に基づき、コスト削減を図りつつ適正に管理する必要がある。 公園のトイレ施設の改修により、利用者の利用環境が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して利用できるよう、公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。 公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡方法について検討を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 まちかどスポット107箇所の維持管理 市道(49路線)の街路樹の維持管理 公園、スポットの改修整備「鍋平園地公衆便所・管理棟修繕工事ほか」
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、地区公園について、計画的な改修が図られるよう、老朽化等による修繕、改修が必要な箇所の調査を実施した。 公共施設等総合管理計画に基づき、コスト削減を図りつつ適正に管理する必要がある。 公園のトイレ施設の改修により、利用環境が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。 公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡について検討を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して安全に公園を利用してもらうための整備に必要な経費を計上 公園用地の取得に必要な経費を計上 公共施設等総合管理計画に基づく公園の廃止に必要な経費を計上 公園における新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	74700 歴史的環境保全整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
			項	4	都市計画費		都市基本計画、歴史的風致維持向上計画			
			目	6	快適環境整備費		根拠計画			
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 人が集えるまちかどスポットを適正に配置し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る。 まちなかの歴史的風致の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 休憩施設や情報掲示施設等を備えたまちかどスポットを「憩いの場」として整備する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		10,000	8,250	15,000	15,000	14,938	6,688
特定財源	国費 (街なみ環境整備事業 1/2)			7,500	7,500	7,469	7,469
	県費 ()						
	その他(景観まちづくり刷新事業雑入、寄附金)	5,000	3,735		5,000	5,000	1,265
一般財源		5,000	4,515	7,500	2,500	2,469	△ 2,046
個票枝番	主な事業内容						
	まちかどスポット整備(街なみ環境整備事業等)	10,000	8,250				△ 8,250
◎ 1	周遊エリアの施設整備			15,000	15,000	14,938	14,938

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
10,000	3,000	3,000	△ 12,000	
5,000	1,500	1,500	△ 6,000	
5,000	1,500	1,500	△ 6,000	
査定額	説明			
3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 憩いの場整備工事(2件)「まちかどスポット看板整備」ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 財源の一部として国庫補助を活用し市の財政負担を軽減した。 これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られるよう統一性を考慮した案内看板を整備した。 遊歩道利用者が安心して散策できる環境の整備が必要
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な憩いの場の整備を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 大雄寺広場整備工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> トイレを配置した大雄寺広場の整備により、遊歩道利用者安心して散策できる環境を整えることができた。 企業版ふるさと納税を活用し、民間企業とのパートナーシップによる事業推進を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な憩いの場の整備を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> まちかどの休憩施設の充実に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	74700 歴史的環境保全整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課
枝番・内容	1 周遊エリアの施設整備(東山周遊エリア)		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	7	土木費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	都市計画費	内線	2313	
		<input type="checkbox"/>		目		6	快適環境整備費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・東山周遊エリアを利用する市民及び観光客の増加に対し、エリア内の公園施設を充実させることで、エリア全体と公園利用の活性化を図る。	概要	・安全で快適に利用できる公園施設の充実及び新たな公園施設の整備
----	--	----	---------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	15,000
主な経費	周遊エリアスポット整備工事	
対前年度増減額(当初予算)		15,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	15,000
	繰越	
	補正等	
	最終	15,000
決算額		14,938
対前年度増減額(決算)		14,938

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・トイレ等整備工事
[スケジュール]	5月～ 工事

事業実績、評価等	
[事業実績]	・大雄寺広場整備工事 トイレ等
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを配置した大雄寺広場の整備により、遊歩道利用者が安心して散策できる環境を整えることができた。 ・企業版ふるさと納税を活用し、民間企業とのパートナーシップによる事業推進を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	